

## Vision2011（国際ロービジョン学会）参加報告

日時：2011年2月20日～24日

場所：Kuala Lumpur Convention Centre, Malaysia

テーマ：Vision Rehabilitation – Towards better living

マレーシアは公用言語がマレー語、英語であり、マレー系、中国系、欧米系の様々な人種が暮らす、マルチカルチャーの国である。宗教はイスラム教が主であるが、モスクは自由に誰でも礼拝することができ、食事も自由である。開催されたクアラルンプール会議場がある場所は高層ビルで有名なペトロナスツインタワーがある KLCC（クアラルンプールシティセンター）の一角に位置していて、クアラルンプールの中心街であり、空港から約45分と便利なアクセス環境の場所にある。GDPは現在5%と経済成長は目覚しく、市内のいたるところでビルの建設や、駅の増設、路線の延長工事が見て取れた。券売機の自動販売機などの設置も進んでいるが、お釣りがでないなど、日本とは違って大雑把なところがある。現地の食事や交通費は安価で、日本の年金生活者の方の移住先としても人気がある。

本大会はアジアで初めて開催されてもので、参加国は51カ国、参加人数約700名、日本からは約40名の参加者があった。機器展示に関しては欧米のメーカーの参加が少なく若干寂しい感じがした。しかし、ベトナムや中国本土の発表もあり、これからのアジアの躍進を予見する大会でもあると思われた。

### 1. 聴講した口頭発表の概要

#### (1) Navigational Support for People with Vision Impairment:

Blaithin AM Gallagher; Ireland

GPSで位置を知るには10mの精度が問題となり、入口のドアの詳細などが分からない。そのためにカメラを備えた新しいデバイスを開発した。

#### (2) Models of Low Vision Care in US

Cynthia Stuen; USA

アメリカではロービジョンケアが始まって60年になる。携わっているのは眼科医、オプトメトリストであり、病院やリハビリ施設、軍人病院で行われている。アンケートの結果様々な規模があるが、サービスは広まりつつある。

#### (3) Near Additions and Reading Performance in Pre-Presbyopes with Low Vision

Susan J. Leat; Canada

調節力が減少しているロービジョン者に加入度を処方することにより、読書スピードに改善が見られた。

#### (4) Speech Reading with Simulated Visual Impairment

Chris Dickinson; United Kingdom

視力の低下は言葉の聞き取りにも影響することが、視覚障害のシミュレーション実験から分かった。

#### (5) Low Vision, the Dutch Way

Gerringa, Paul G.J.; The Netherlands

オランダでは訪問してロービジョンの検査、適切な道具の処方をしている。センターの訓練よりも好まれている。無料である。

#### Free Paper Session 10 – Low Vision Aids

#### (6) Reading Function With and Without Low Vision Aids

Keziah Latham; United Kingdom

拡大鏡を使った評価は小さな文字を読めるかどうかの予測に効果的であるが、読書速度の予測はできない。

#### (7) Evaluation of the Use and Satisfaction of Visually Impaired Elderly Regarding their Visual Aids

Josee Duguet; Canada

高齢者のロービジョン補助具は説明とフォローアップにより、使用感に対する満足度は高くなった。

#### (8) The best Aid for Far is the Best Correction of Refractive Errors for Low Vision Patients

Francesca de Rossi; Italy

遠方視用の補助具は、屈折矯正の説明が十分されて処方されるとよい結果がえられる。

#### (9) Resolution Properties of a 24D Diffractive Optics Lens

William L. Brown; USA

24D の回折レンズの光学的中心に瞳孔中心が厳密に位置しなくても見ることができる。

#### (10) A Randomized Clinical Trial of Closed Circuit TV (CCTV) and Eccentric Viewing Training for Reading in People with Age-Related Maculopathy

Susan J. Leat; Canada

加齢性黄斑部変性症の患者は拡大読書器や中心外固視訓練による訓練の評価は複雑であ

り、調査は同じ人によって長期に行う必要がある。

**(11) What's Changing in Rehabilitation? Efesto's Experience During Last 10 Years**

MARSILIO Roberto; Italy

イタリアにおける1999年からの民間による技術と公的施設の連携による障害者センターの学際的な活動報告。

**(12) From Knowledge Transfer to the Development and Implementation of a Clinical Eccentric Viewing Program in a Vision Rehabilitation Center: A Concrete Example**

Jsee Duquette; Canada

中心外固視訓練はその誕生から実用化にいたるまで、オプトメトリストや様々な職種の人の中で情報を交換し合って定着するには時間がかかる。

**(13) Compensatory Scanning Training for Hemianopia**

Gera de Haan; The Netherlands

半盲のロービジョン者に対して、見えない側に大きく眼をスキヤニングする訓練をおこなった結果の報告

**(14) Optometric Low Vision Service in the Training Course to Support the Learning Needs of Students with Cortical Visual Impairment in Hong Kong**

Andrew C.W. Au-Yeung; Hong Kong

香港における皮質盲を伴うロービジョンの学生に対する援助の概要

**(15) Standardized Assessment of Reading Performance: The New International Reading Speed Texts IReST in 17 Languages**

Susanne Trauzettel-Klosinski; Germany

成人のための読書スピードを計測するチャートを、アラビア語、中国語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ヘブライ語、イタリア語、日本語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、トルコ語で作成するプロジェクト。詳細は <http://www.amd-read.net>

**(16) EFILECT, an Optimization Program to Improve the Reading Efficiency of Students with Low Vision**

Carlos Manuel Santos Plaza; Spain

読書の効果を深めるためのプログラムの策定を行い、教育レベル、眼振の有無などで区別して調査を行った。学校だけでは十分な効果は得られなかった。

(17) Use of Gaze-Contingent Augmented-Vision Aid to Improve Reading with Central Field Loss

Carlos AGUILAR; France

中心暗点の患者の読書の改善のために、中心外固視を可能にする新しい機器の開発

(18) Magnification Needs for Adults with Low Vision in Hanoi, Vietnam

Dr Nguyen Thi Thu Hien; Vietnam

ベトナム、ハノイにおける 2007～2009 年におけるロービジョンサービスの現状報告

(19) Accessible Technology for the Use of GPS Systems as an Orientation Aid

Conception Blocona Santos; Spain

GPS を使った地図を、視覚障害者が歩行するときに使えるように音声や触覚でアクセスできる方法の開発

## 2. 参加したワークショップ

### Work Shop – The Use of Distance and Near Low Vision Aids

香港理工大学の Prof. George Woo 氏による近見視、遠見視用のロービジョンエイドの紹介。

トピックスはオートレフラクトメーターを購入することができない発展途上国など、電源や予算もない場所で屈折異常値を計測できる眼鏡を開発されたことである。これはガリレオ式双眼鏡は鏡筒の長さを変化させると後頂点屈折力が変化するという性質を利用したものである。今回、私がポスター発表した単眼鏡の等価屈折力の変化と理論は同じであり、学ぶことは多かった。

## 3. ポスター発表

ポスターは 79 の発表があった。田邊は北里大学の魚里先生との共同研究で「Calibration of Adjustable Focus Telescopes for Near Vision」の発表を行った。用意した 150 部の資料は興味のあるかたが全て持参されて、配布を完了した。発表内容を要約すると、単眼鏡は一般的には遠くを見るだけのものと思われているが、ロービジョン用の単眼鏡は近見視もできるように設計されていて、書物までの距離も概算であるが鏡筒に記されている。しかし、実際にはあまり近見視で使用できることは知られておらず、近見視用拡大鏡と同様の屈折力を得る場合、作業距離が伸びる特徴が有効に利用されていない。そこで、単眼鏡の等価屈折力と作業距離を鏡筒に目盛で記すことを提案した。